

## "ケンブリッジ英語検定の監査について"

(SIBYLLE BOLTON ALTE CONSULTANT, MUNICH, GERMANY)

Cambridge ESOL, Research Notes: Issue 39/February 2009

上記の論文では、2007年4月に著者がALTEの監査員として監査を行った際の様子が報告されており、表1に引用されていたALTEの最低基準（Minimum Standards for establishing quality profiles in ALTE examinations）が示されていた。ここでは、その5分野17の最低基準（パラメーター）を紹介する。

ちなみに、当監査の結果は「包括的で明確な妥当性の議論、そしてそれを支える文書が存在したため、“satisfactory”の評価を与えた」と Research Notes: Issue 39/February 2009 の P.33 にある。

### TEST CONSTRUCTION テスト設計

- 1 試験は理論的な構造に基づいている。（例：コミュニケーション能力のモデル）
- 2 試験の目的と使用のコンテキスト、および試験が適切である母集団を記述できる。
- 3 テスト設計者の採用基準およびトレーニングについて提供し、専門家の判断は、テスト設計と、テストのレビューと改訂の両方に関係します。
- 4 レベル別試験は内容、安定性、一貫性、グレード面で試験実施団体が異なっても比較可能である。
- 5 試験が外部参照システム（例えばCEFRなど）にリンクされていると主張する場合は、CEFRに合致している証拠を提出することができる。

### ADMINISTRATION & LOGISTICS 試験運営とロジスティクス

- 6 選ばれた試験センターはすべて、明確で分かりやすい、確立された手続きに従ってあなたの試験を実施でき、それを行うための規則にアクセスできる。
- 7 試験問題はセキュリティーの高い優れた状態で提供され、認定試験センターへの確実な輸送手段によって、試験管理システムはすべての試験文書の安全で追跡可能な取扱いを提供し、すべてのシステム手続の機密性を保証することができる。
- 8 試験管理システムには、適切なサポートシステム（電話ホットライン、Webサービスなど）がある。
- 9 現在の個人データ保護法に従って、結果と証明書のセキュリティーと機密性、およびそれらに関連するデータを適切に保護し、候補者にはこのデータへのアクセス権が通知される。
- 10 当該の試験には、特別なニーズを持つ受検者（障害のある受検者など）を支援する体制がある。

### MARKING & GRADING 採点

- 11 採点は、試験の目的とタイプに関して十分に正確で信頼できるものである。
- 12 採点方法と信頼性（Reliability）の推定方法と、ライティングやスピーキングのパフォーマンスをどのように評価したかについてデータを収集して分析する方法を文書化して説明することができる。

### TEST ANALYSIS テスト分析

13 適切かつ代表的な受検者のサンプルについてデータを収集し分析し、L1、出身国、性別、年齢、出身国などの要因に影響されず、試験で測定されたスキルの結果であることを確信できる。

14 項目レベルのデータ（例えば、試験の難度、識別、信頼性、標準誤差の算出）は、適切な受検者サンプルから収集され、分析される。

**COMMUNICATION WITH STAKEHOLDERS ステークホルダーとのコミュニケーション**

15 試験管理システムは、試験の結果を受検者と試験センター（活用校など）に迅速かつ明確に伝達する。

16 試験の適切な内容、目的、活用法、内容、試験結果の全体的な信頼性に関する情報をステークホルダーに提供している。

17 ステークホルダーは、結果を解釈して適切に使用するために適した情報を提供する。

ALTEのQマークは、メンバー機関が厳格なALTE監査に合格し、ALTEの17の品質基準のすべての主要要件を満たしていることを証明する品質指標です。Qマークは、ALTE加盟機関が、試験の質と卓越性に関する一貫した基準を熱心に取り組んでいることを示しています。

ALTE フレームワーク 2018 年は[こちら](#)をご覧ください。

ALTE Framework 2018



Language	Organisation	Pre-A1	A1 ALTE Breakthrough	A2 ALTE Level 1	B1 ALTE Level 2	B2 ALTE Level 3	C1 ALTE Level 4	C2 ALTE Level 5
Dutch Nederlands	The Interuniversity Testing Consortium (IUTC)					Interuniversitaire Taaltest Nederlands voor Anderstaligen – ITNA – B2 • Re-audit May 2021  	Interuniversitaire Taaltest Nederlands voor Anderstaligen – ITNA – C1 • Re-audit May 2021  	
English	Cambridge English Language Assessment			Cambridge English: Key • Re-audit May 2018  	Cambridge English: Preliminary • Re-audit May 2018  	Cambridge English: First • Re-audit May 2018  	Cambridge English: Advanced • Re-audit May 2018  	Cambridge English: Proficiency • Re-audit May 2018  
				Cambridge English: Key for Schools • Re-audit May 2018  	Cambridge English: Preliminary for Schools • Re-audit May 2018  	Cambridge English: First for Schools • Re-audit May 2018  		
		Cambridge English: Starters • Re-audit Dec 2019  	Cambridge English: Movers • Re-audit Dec 2019  	Cambridge English: Flyers • Re-audit Dec 2019  	Cambridge English: Business Preliminary • Re-audit May 2018  	Cambridge English: Business Vantage • Re-audit May 2018  	Cambridge English: Business Higher • Re-audit May 2018  	

Version date: 27/02/2018

※上記リンクの3ページ目にある英語に関し弊機関に言及しているページがあり、当該ページのみ抜粋したものです。ケンブリッジのレベル別試験についてはヤングラーナーズ英語検定を含む全ての検定試験にALTEの基準をクリアしている品質を保証するQマークが付与されており、次回監査は2018年5月を予定。